

研究課題名	HL7 FHIR 規格を用いた造血幹細胞移植の多施設診療情報集約システム構築と運用の検討
研究の意義・目的	<p>本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。大阪公立大学医学部附属病院、和歌山県立医科大学附属病院、愛媛大学医学部附属病院において、造血幹細胞移植を施行した患者さん、及び造血幹細胞の採取を行ったドナーさんの診療データを、医療情報の国際標準規格である HL7 FHIR を用いて統合集約管理するシステムを構築し、その構築と運用に関する課題抽出と統合集約されたデータの精度検証を目的とした研究です。</p> <p>将来的には、本システムへの参加施設を増やし、集約された臨床情報を用いた医学研究を行うことで、造血幹細胞移植治療の発展、向上に寄与することを目指しています。</p>
研究を行う期間	「研究機関の長の研究実施許可日」～2027年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	<p>2010年1月～2026年3月の間に下記の研究参加施設において造血幹細胞移植治療を受けた方、及び造血幹細胞の採取を行ったドナーの方が対象となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪公立大学医学部附属病院 ・和歌山県立医科大学附属病院 ・愛媛大学医学部附属病院
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報等：病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、生年月、造血幹細胞移植の方法、検査データ、投薬情報、予後に関する情報、診療報酬情報</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は、共同研究機関(研究代表機関を含む)において頂いた情報を提供・共有致します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	<p>当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名</p> <p>研究代表機関：大阪公立大学大学院医学研究科・血液腫瘍制御学・岡村浩史</p> <p>共同研究機関：</p> <p>和歌山県立医科大学・輸血部・西川彰則</p> <p>愛媛大学大学院医学研究科・医療情報学・木村映善</p>
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科・血液腫瘍制御学・岡村浩史
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学</p> <p>(担当者氏名) 岡村浩史</p> <p>電話番号：(06)6645-3881</p>